

平成17年4月から公共施設の指定管理者制度に基づき、各地区の公民館の運営をその地域のまちづくり協議会などへ委託しました。
 「社会教育通信」では、各地区における新しい事業への取り組みを紹介しています。第8回は「小原公民館」です。

〒小原公民館 ☎29-2031・☎29-2900

活動の目標

～みんなの元気で、安全・安心のふるさとづくり～小原

中山間に位置する小原地区では、安心して暮らせるふるさとづくりを目標に地区の皆さんがさまざまな活動を展開しており、その活動拠点である公民館では、皆さんからのご指導とご協力をいただきながら、連携して各事業の推進に当たっています。

特色ある公民館活動（主な公民館主催事業）

各自治会より選出された皆さんと体育指導員を中心に体育・文化・福祉委員会をつくり、公民館事業を推進しています。

小原地区体育祭(5月)

小原小学校との共催で開催しているこの体育祭。徒競走は小学校の種目、親子三代リレーは地域の種目という形で学校と地域が協力した種目が構成され、得点種目を設けて競技を行っています。子どもたちは学校の種目だけでなく、地域の種目にも参加し、地域の皆さんとのかかわりあいを深めながら、地域の良さを学んでいます。運営についても学校の教職員と地域の方々が大会役員や競技役員として共同で当たり、打ち合わせから準備、運営、後片付けまで、お互いに協力し合いながら行っています。また、昨年度はお昼休みに小原中学校の皆さんが募金箱を持って各地区のテントを回り、カンボジア救済募金活動を行いました。



▲素早くおぶって急いでゴールへ!(おんぶ競走) 備、運営、後片付けまで、お互いに協力し合いながら行っています。また、昨年度はお昼休みに小原中学校の皆さんが募金箱を持って各地区のテントを回り、カンボジア救済募金活動を行いました。

小原地区敬老会(6月)



▲会場から大きな拍手が上がったダンス披露

小原小中学校体育館を会場に毎年開催しており、式典や祝宴のほか、民謡や踊り、ゲームなどのアトラクションで、出席した190名の皆さんに楽しんでいただいています。敬老者の代表からは、自然と人情豊かな小原に生活する喜びと、今後の人生への抱負を込めた答辞が述べられました。会の運営に当たっては、小原中学校の教職員や生徒の皆さんのほか、会場の準備などでたくさんの地区の皆さんにご協力いただいています。

小原地区球技大会(7月)

小原小中学校や公民館を会場に、各地区対抗で家庭バレーボールやソフトボール、ゲートボールを行います。地域内の親睦を目的としたこの大会、競技運営は体育委員会が行い、事前の会議で競技日程や種目規則などの

確認、練習会場確保、組み合わせ抽選会、競技役員の役割分担などの細部について協議し、成功に万全を期します。各チームは、優勝を目指して熱戦を繰り広げ、好プレーや珍プレーが続出します。

小原地区民文化祭(11月)

年度ごとにテーマを設定し、そのテーマに沿った内容で展示や発表などを行います。昨年度のテーマは「写真で見る小原」に決まり、写真を募集したところ、この地区の変遷を示すたくさんの写真が寄せられ、文化祭でも好評を得ました。

当日は、白石女子高等学校弓道部の皆さんに協力いただき、小原公民館弓道場で市の指定民俗文化財となっている「小原の百矢納め」の実演を行った後、小原小中学校体育館に会場を移して展示や芸能披露、販売などを

行いました。

カボチャやひょうたん、写真などの展示(写真コンテストも併せて実施)、小原果樹部会によるリンゴの直売、食生活改善推進委員会による健康料理試食コーナー、うどんやそば、玉こんにゃくの販売、お茶やコーヒーのサービスコーナー、お楽しみプレゼント抽選、ビンゴゲーム、臨時郵便局開設による年賀はがきの受け付け、小中学生の絵画展示や学習発表、もちつきコーナーなど、多種多様な催しは毎年たくさんの人から好評をいただいています。

神事「小原の百矢納め」



▲小原弓道愛好会の皆さんによる実演

おはらいなどを行った後、奉射を行います。数人の射手が1人につき2本の矢を持ち、はじめに15間(約27m)ほど離れた大的(直径5尺2寸、約1.6m)に100本の矢を当て、次に小的(直径8寸、約24cm)に誰か1人が矢を1本当てれば終了となります。

編集後記

昨年度1年間の行事などを思い出してみると、お互いに協力し合いながら活発に活動している、地区の皆さんの顔が浮かんでくるほか、会場に飛び交う、子どもたちの元気な声にうれしさを感じたことも思い出されます。小原地区は市内でも少子高齢・過疎化の進行が著しい地区ですが、ほかにはない豊かな観光資源と、宮城と新潟を結ぶ輸送の大動脈・国道113号を抱えています。向き合う姿勢により、もっと「元気あるふるさとづくり」が可能であると信じ、皆さんのご指導をいただきながら、これからも公民館としての役割を果たすために努力していきたいと思っております。

FAXの場合は、ご記入の上、そのまま送信してください。

市長への生き生きメール 行 **FAX 24-4861**

切り取り
 のりしろ
 谷折り
 切り取り

市長への生き生きメール
 について

のりしろ
 谷折り

お名前	年齢	歳	性別	男・女
おところ	〒 白石市			
電話番号				

※ 住所、氏名などの必要事項を必ずご記入ください。記入がありませんと、適切な対応ができない場合があります。なお、手紙の内容や回答を広報紙に掲載する場合は、住所や氏名などは一切掲載しません。

谷折り
 のりしろ
 切り取り

☎総務課広報広聴係 ☎22-1331